



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 株式会社クロップス 上場取引所 東・名  
 コード番号 9428 URL http://www.crops.ne.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 正明  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部門担当 (氏名)後藤 久輝 (TEL)052(588)5640  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,999	4.2	219	45.3	220	46.3	105	217.2
25年3月期第1四半期	5,755	16.0	151	△40.1	151	△43.3	33	△75.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 135百万円(224.2%) 25年3月期第1四半期 41百万円(△72.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	11.03	—
25年3月期第1四半期	3.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,397	3,686	30.5
25年3月期	12,162	3,567	27.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,476百万円 25年3月期 3,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		0.00	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,592	10.5	321	15.8	314	15.0	148	20.0	15.42
通期	25,870	7.3	761	5.3	747	3.1	363	7.1	37.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	9,597,400株	25年3月期	9,597,400株
26年3月期1Q	443株	25年3月期	403株
26年3月期1Q	9,596,960株	25年3月期1Q	9,617,015株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権によるデフレ脱却に向けた金融・経済政策により、円安・株高が進行し、輸出関連を中心とした企業収益や一部の個人消費に回復傾向が見られたものの、欧州をはじめとする世界経済の減速や中国など新興国の成長鈍化など、先行きに対する不透明感は依然として払拭できない状況で推移しました。

このような経済環境の中、移動体通信事業におきましては、スマートフォンの普及やタブレット端末等のデバイスの多様化、音楽・映像・電子書籍等を中心としたコンテンツサービスの広がり、各種キャンペーンによる料金施策など、顧客獲得に向けた競争が一段と激しさを増しております。

人材派遣事業につきましては、海外景気の下振れ懸念はあるものの、輸出関連の製造業を中心とした企業収益の改善や派遣職種適正化影響の一巡により、受注は回復基調にあります。

ビルメンテナンス事業につきましては、輸出環境改善の恩恵を受ける製造業や公共投資増加の恩恵を受ける建設業等、顧客企業の収益に改善の傾向が見られる一方で、顧客企業のコスト削減意識は依然として強く、値下げ要請による単価の下落や同業他社との価格競争の激化が続いております。

飲食店舗居抜き流通事業につきましては、世帯1人当たり外食支出額の増加等、外食産業の市場規模が拡大に転じており、出店費用を抑制できる居抜き出店、店舗貸借時に信用を補完できるサブリースとも好調に推移しております。

文具事務用品卸事業につきましては、所得環境の停滞が続いたことによる消費者の節約志向の定着により、リーズナブルな商品の需要は堅調に推移している一方で、海外仕入先であるアジア諸国の人件費上昇や円安の影響で、原価率は上昇傾向にあります。

海外事業につきましては、平成25年6月末の携帯電話契約件数（中国）が前年同期比1億2,387万件増加の11億7,585万件となっており、市場規模の拡大が続いております。

このような市場環境にあつて当社グループは既存顧客の確保と新規顧客の開拓に注力した営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高5,999,656千円（前年同期比4.2%増）となりました。損益面におきましては営業利益219,648千円（前年同期比45.3%増）、経常利益220,887千円（前年同期比46.3%増）、当期純利益105,918千円（前年同期比217.2%増）となりました。

セグメント別の概況は、次の通りであります。

## ① 移動体通信事業

移動体通信事業におきましては、スマートフォンの本格的な普及と商機を生かした販売促進施策を推進してまいりましたが、前第1四半期に発生した800MHz帯周波数再編に伴う新周波数帯対応端末への移行が昨年7月に完了したことを受けて、機種変更台数が大幅に減少しており、売上高としては前期比で減少しております。

損益面におきましては、売上高総利益率の高い周辺商材の販売が増加したこと、スマートフォンの普及にともない回線系手数料の増加したこと等により売上総利益が増加しました。また、販売促進費の効果的な使用により販売費及び一般管理費を削減しております。

なお、総合的な営業力強化のため、平成25年6月に「auショップ四日市笹川（三重県四日市市）」のリニューアルを実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,926,093千円（前年同期比4.4%減）、営業利益は110,932千円（前年同期比98.6%増）となりました。

## ② 人材派遣事業

人材派遣事業におきましては、輸出関連企業の収益の改善等により、製造業向けの特定派遣、製造業からの業務請負の受注が増加傾向にあるものの、スマートフォン、無線LANとの競争激化により売上高総利益率の高いF T T H等光回線販売が減少しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は514,318千円（前年同期比0.1%減）、営業損失は4,358千円（前年同期は営業利益13,841千円）となりました。

## ③ ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業におきましては、大手取引先との良好な取引実績を生かした新規顧客の獲得及び既存業務の再構成と顧客ニーズに合わせた新規業務の提案による総合的な価格競争力の強化により既存顧客の深耕を図るとともに、業務効率の改善及び管理コストの削減・抑制に注力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は977,641千円（前年同期比13.2%増）、営業利益は72,740千円（前年同期比174.9%増）となりました。

## ④ 飲食店舗居抜き流通事業

飲食店舗居抜き流通事業におきましては、出店希望の見込める優良物件の獲得に注力したことにより、開店・閉店支援サービスの契約件数、サブリースの管理物件数とも好調に推移しました。

なお、営業能力の向上及び優良物件の情報収集能力向上のため、平成25年4月に池袋営業所（東京都豊島区）を開設しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は574,084千円（前年同期比42.7%増）、営業利益は31,389千円（前年同期比102.0%増）となりました。

## ⑤ 文具事務用品卸事業

文具事務用品卸事業におきましては、販売は堅調に推移する一方、海外仕入先であるアジア諸国の人件費上昇や円安の影響により原価率が上昇し、採算性が低下しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,021,682千円（前年同期比5.5%増）、営業利益は34,673千円（前年同期比36.5%減）となりました。

## ⑥ 海外事業

海外事業におきましては、中国上海市において運営するチャイナテレコムショップでの販売が順調に推移しました。損益面におきましては、事業拡大のための先行投資費用等により、営業損失を計上しております。

なお、平成25年5月に同事業で2店舗目となる「チャイナテレコムショップ虹泉路（中国上海市）」を新規出店しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は39,249千円、営業損失は10,597千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.7%減少し、6,019,753千円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金の減少（705,662千円）、現金及び預金の減少（187,705千円）等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、5,377,514千円となりました。これは、主としてのれんの減少(17,082千円)等があったものの、差入保証金の増加(95,018千円)や投資有価証券の増加(45,030千円)等があったことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて6.3%減少し、11,397,267千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて21.0%減少し、4,464,772千円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金の増加(83,150千円)等があったものの、短期借入金の減少(650,000千円)や支払手形及び買掛金の減少(608,447千円)等があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.3%増加し、3,246,150千円となりました。これは、主として長期借入金の増加(280,080千円)や長期預り保証金の増加(94,016千円)等があったことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.3%減少し、7,710,923千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、3,686,344千円となりました。これは、主として利益剰余金が91,523千円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に発表いたしました平成26年3月期の連結業績予想(第2四半期累計及び通期)に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算出しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,092,212	1,904,506
受取手形及び売掛金	2,869,197	2,163,534
商品	1,477,553	1,464,707
貯蔵品	2,438	2,418
繰延税金資産	166,492	166,492
その他	286,950	319,446
貸倒引当金	△1,275	△1,353
流動資産合計	6,893,569	6,019,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	939,730	923,094
土地	1,764,945	1,764,945
貸与資産(純額)	502	0
その他(純額)	68,099	66,755
有形固定資産合計	2,773,276	2,754,794
無形固定資産		
のれん	172,244	155,161
その他	52,920	50,200
無形固定資産合計	225,165	205,362
投資その他の資産		
投資有価証券	470,735	515,766
差入保証金	1,411,708	1,506,727
繰延税金資産	139,853	139,963
その他	249,112	255,477
貸倒引当金	△577	△577
投資その他の資産合計	2,270,832	2,417,357
固定資産合計	5,269,274	5,377,514
資産合計	12,162,844	11,397,267



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,622,945	1,014,497
短期借入金	2,000,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	547,079	630,229
未払金	579,686	560,468
未払法人税等	198,784	107,739
賞与引当金	203,563	225,618
役員賞与引当金	6,560	—
その他	494,288	576,218
流動負債合計	5,652,907	4,464,772
固定負債		
長期借入金	1,336,830	1,616,910
退職給付引当金	161,377	163,739
役員退職慰労引当金	8,845	9,100
長期預り保証金	1,116,834	1,210,850
資産除去債務	91,736	91,364
繰延税金負債	17,378	40,728
その他	209,161	113,457
固定負債合計	2,942,163	3,246,150
負債合計	8,595,071	7,710,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,157	255,157
資本剰余金	315,278	315,278
利益剰余金	2,614,963	2,706,486
自己株式	△134	△152
株主資本合計	3,185,264	3,276,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,912	190,293
為替換算調整勘定	3,257	9,304
その他の包括利益累計額合計	172,170	199,598
少数株主持分	210,338	209,976
純資産合計	3,567,773	3,686,344
負債純資産合計	12,162,844	11,397,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,755,649	5,999,656
売上原価	4,395,196	4,560,700
売上総利益	1,360,452	1,438,956
販売費及び一般管理費	1,209,263	1,219,307
営業利益	151,188	219,648
営業外収益		
受取利息	178	175
受取配当金	2,635	5,018
違約金収入	—	2,333
固定資産売却益	635	—
貸倒引当金戻入額	566	—
その他	3,534	2,195
営業外収益合計	7,550	9,724
営業外費用		
支払利息	7,566	6,956
その他	143	1,528
営業外費用合計	7,709	8,484
経常利益	151,030	220,887
特別利益		
新株予約権戻入益	2,482	—
特別利益合計	2,482	—
特別損失		
固定資産除却損	475	2,053
固定資産売却損	—	18
投資有価証券評価損	50,403	—
賃貸借契約解約損	2,380	—
特別損失合計	53,260	2,072
税金等調整前四半期純利益	100,252	218,815
法人税等	61,501	110,780
少数株主損益調整前四半期純利益	38,751	108,034
少数株主利益	5,361	2,116
四半期純利益	33,390	105,918

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,751	108,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,018	21,340
為替換算調整勘定	—	6,047
その他の包括利益合計	3,018	27,387
四半期包括利益	41,769	135,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,488	133,346
少数株主に係る四半期包括利益	5,281	2,075

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	飲食店舗 居抜き 流通事業	文具事務 用品卸事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,062,245	459,092	863,412	402,323	968,574	5,755,649
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	55,712	515	—	82	56,310
計	3,062,245	514,804	863,927	402,323	968,657	5,811,959
セグメント利益	55,852	13,841	26,465	15,537	54,624	166,321

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	166,321
セグメント間取引消去	1,950
のれん償却額	△17,082
四半期連結損益計算書の営業利益	151,188

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	飲食店舗 居抜き 流通事業
売上高				
外部顧客への売上高	2,926,093	461,451	977,095	574,084
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	52,867	546	—
計	2,926,093	514,318	977,641	574,084
セグメント利益又は 損失(△)	110,932	△4,358	72,740	31,389

	報告セグメント		合計
	文具事務 用品卸事業	海外事業 (注)	
売上高			
外部顧客への売上高	1,021,682	39,249	5,999,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	53,413
計	1,021,682	39,249	6,053,070
セグメント利益又は 損失(△)	34,673	△10,597	234,781

(注) 中華人民共和国で携帯電話の販売等を営む克龍風速上海商貿有限公司を設立し、連結子会社化したことに伴い、前連結会計年度より報告セグメントの区分に「海外事業」を新設いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	234,781
セグメント間取引消去	1,950
のれん償却額	△17,082
四半期連結損益計算書の営業利益	219,648